

大規模災害発生時における 歯科保健医療 の役割



厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究推進事業）
大規模災害時における歯科保健医療の健康危機管理体制の構築に関する研究

大規模災害時には歯の問題も見逃せません！

95年の阪神・淡路大震災や04年の新潟県中越地震など、大規模災害は突然私たちの生活を襲います。被害の状況によっては、避難所等での生活が長期にわたることも。その際、見逃せないのが歯に関する問題です。

被災直後に必要な歯科医療はケガの治療が中

心ですが、1日、2日と経つにつれて、入れ歯がなくて食事がしづらい、歯みがきができず歯肉炎や歯周炎になった、などの問題が表面化してきます。

致命傷となるケースは少ないとはいえ、毎日の生活には大きく影響するのが歯の問題なのです。

大規模災害時に見られる、歯に関する問題点

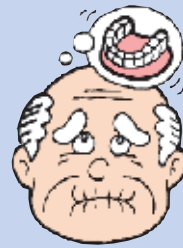
歯が痛い

歯が痛くなくても治療を受けることができず、痛みを何日も我慢しなければならぬ方もいました。



入れ歯をなくした

地震とそれに続く火災により、入れ歯を持ち出す間もなく避難した高齢者の方々は、食事にもたいへん苦労しました。



歯科保健医療関係者の協力

- 歯科医師会
- 歯科衛生士会
- 歯科技工士会
- 病院歯科
- 行政関係者

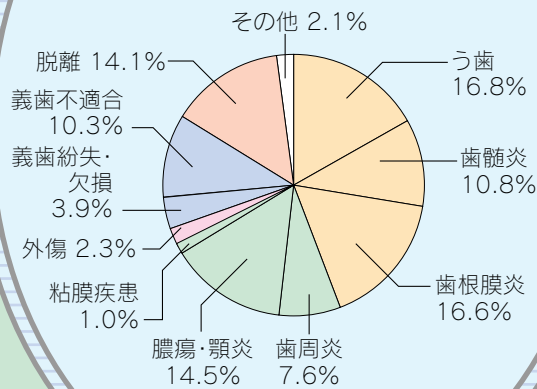
歯みがきができない

歯ブラシがない、水がないなどの理由で歯みがきができず、口内炎、歯周炎、顎炎になるなど、歯ぐきが腫れたり、膿んだりする方もいました。



阪神・淡路大震災(95年)のときは…

● 兵庫県内の仮設診療所では (総数1952人、2344件)



資料：「阪神・淡路大震災と歯科医療」兵庫県病院歯科医会

差し歯が取れた

避難所生活の中で差し歯が取れてしまった被災者の方もいました。



お口のケガ

災害によってあごや口の中にケガをしたり、歯が折れてしまった方もいました。



Data

● 被災約1ヵ月後の避難所での聞き取り調査 (調査人数166人)

治療を必要としている人数…74人

【内訳】	人数
● 義歯紛失	14人
● 義歯の修理及び調整が必要	14人
● 修復物脱離	4人
● 受診希望	19人
● 治療中	4人
● 口内炎	4人
● う蝕	4人
● その他(しみる、動揺歯、歯牙破折など)	

資料：「阪神・淡路大震災と歯科医療」兵庫県病院歯科医会

被災地域・避難所での歯科保健医療救護活動

新潟県中越地震(04年)・
中越沖地震(07年)
などのときは…

お口のケガ人の 搬送



災害時、あごの骨折など
大きなケガをした方は、
救急病院へ搬送します。

口腔ケアの実施

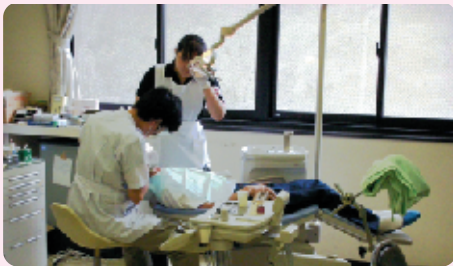


歯科医師、歯科衛生士らが
地域や避難所を巡回し、
歯科保健活動を行います。

避難所・ 仮設住宅等



歯の応急処置



入れ歯が使えず、
食事が困難な方などに
対し、応急の歯科治療を
行います。

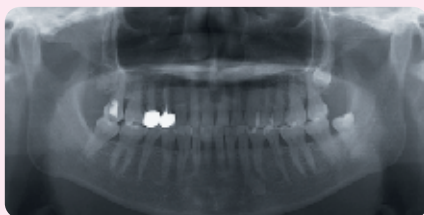
仮設診療所の開設



歯科診療車や
ポータブル歯科診療機を用いた
仮設診療所を開設します。

その他にも…

歯による身元確認



遺体の身元確認において、
歯科所見が活用されます。

歯科保健医療に できることがあります

新潟県中越地震や中越沖地震のときには、主に避難所や仮設住宅などで、口腔ケアなどの歯科保健医療救護活動が行われました。

このように、阪神・淡路大震災の経験から大規模災害時の歯科保健医療に関する課題が明らかになり、その後の各地の地震災害では、さまざまな活動が行われるようになってきました。

歯科保健医療を通じて被災地の方々の生活を支援するため、日ごろからの救護活動の体制整備が進んでいます。

災害時の歯科保健医療の体制整備に向けて

現 在、各歯科関係機関において、災害時の歯科保健医療に必要な体制づくりが行われています。体制整備に関する全国調査は平成17年より進められており、平成19年からは厚生労働科学研究費の研究班として続けられています。

こ の研究班では、過去の事例から災害の規模やタイプ、また、被災地域の人口や特性に応じて実際に必要とされた歯科保健医療の詳細な検討を行い、平成21年度末に、準備すべき歯科保健医療体制の提案をまとめる予定です。

ま た、災害時の地域歯科保健医療は、歯科医院の歯科医師（歯科医師会）、保健所の歯科担当者（行政）、病院／大学の歯科医師（勤務医）などを中心として、関連する保健医療従事者（歯科衛生士、歯科技工士、医師、看護師、保健師ら）とが連携して担うこととなりますが、準備すべき体制が明らかとなった後、さらに各職種／機関の連携に基づいた、体制整備が必要とされています。長期的には、各教育機関での教育体制も必要となるため、教育体制における調査も進められています。



●研究分野

分野	担当
総括	中久木康一（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学分野）
健康危機管理支援情報提供	星佳芳（国立保健医療科学院・研究情報センター情報デザイン室長）
教育カリキュラム	鶴田潤（東京医科歯科大学歯学教育開発学分野 講師）
要援護者への歯科保健対策	戸原玄（日本大学歯学部摂食機能療法学講座 准教授）
地域口腔保健システム	村井真介（東北大学大学院医学系研究科国際保健分野 助教）
歯科衛生士における体制	小室貴子（荒川区保健所健康推進課 歯科担当）
行政歯科における体制	清田義和（新潟県福祉保健部健康対策課 歯科保健・食育推進係）
身元確認への協力体制	岩原香織（日本歯科大学生命歯学部歯科法医学センター 助教）
歯科技工士における体制	岩嶋秀明（日本歯科大学新潟病院 歯科技工科・歯科技工研修科）

●パンフレット作成協力（順不同）

田中義弘（神戸市立中央市民病院口腔外科）／河合峰雄（神戸市立こうべ市歯科センター）／御代出三津子（兵庫県歯科衛生士会）／田中彰（日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科）／岡田広明、松崎正樹（新潟県歯科医師会）／大塚誠之輔、山川尚人（柏崎市歯科医師会）／中村宗達（静岡県厚生部医療健康局）／安藤雄一（国立保健医療科学院口腔保健部）／寺岡加代（東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科口腔健康教育学）

厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究推進事業） 大規模災害時における歯科保健医療の健康危機管理体制の構築に関する研究

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・顎顔面外科学
中久木 康一
〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45
Mail : k-nakakuki.mfs@tmd.ac.jp